

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	HAPPY WORKS 住吉校		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 19日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 19日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 9日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○指導訓練室が二部屋に分かれており、落ち着いて活動したい児童と体を動かしたい児童とで環境を分けて活動ができています。	○児童の様子を見てそれぞれの活動を促し、各児童の気持ちの尊重をしていき、落ち着きを促していく。	○活動をする上での選択肢の拡充を今後も行っていきます。
2	○ダンスの発表会や商品の出品などの活動を取り入れることで、HAPPY WORKSでしかできない経験を児童が体験できるように取り組んでいる。	○職員や児童のやりたいことを柔軟に活動に取り入れている。 ○学校の先生や相談員さん、保護者等の関係機関を招待したり、地域の人たちと関わりが持てるよう行事を組んでいる。	○行事ごとに振り返りを行い、今後の行事に活かしている。
3	○法人内での研修体制が充実しており、安全面の配慮や支援方法に関する知識の共有が職員全体に行われている。	○研修の中で職員同士で話し合いの場も設けることで日々の支援に研修内容を生かせるように行っている。 ○その時々職員に対して必要な研修をジャンル問わず行っている。	○研修で得たことを振り返る機会を設けるなど、さらに支援の質の向上を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○日々の支援の中で、活動内容や関わり方を十分に振り返る時間が乏しい。	○活動準備や記録業務に時間を要するため ○集団での運動遊びや戸外活動を中心としており、安全確保や活動の進行を優先する必要があるため	○ミーティングを行っているが、他の業務もあるので時間調整して行っている。 ○記録方法や業務の進み方を工夫し、振り返りの時間を確保する。
2	○年齢や発達段階の異なる児童が同じ集団活動に参加するため支援内容の調整が難しい場面がある。	○集団活動では、活動内容やルールを統一する必要があるため ○個々に合わせた難易度設定や関わり方の検討に時間を要するため	○年齢や発達段階に応じた声掛けや関わり方を工夫する。 ○活動内容に段階を設けるなど、無理なく参加できる工夫を行う。
3	○集団活動の中で、児童一人ひとりが主体的に参加できる役割設定が十分に行えない場面がある。	○年齢や特性に差があり、役割設定に時間を要するため	○児童の特性や得意なことを踏まえた役割づくりを検討する。 ○達成感や成功体験につながる関わりを意識して支援を行う。